



令和 5 年度 補助事業等実績報告書

令和 6年 4月26日

函館市長 大 泉 潤 様

住所 函館市中島町25番18号

補助事業者等 氏名または団体名 中島町商店街振興組合

および代表者氏名 理事長 川崎 正博

補助事業等の名称 函館市商店街等持続化支援事業補助金（提案型事業）

令和5年4月13日函経商をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、令和6年3月28日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額 金 500,000 円

補助金等領収済額 金 500,000 円

補助金等領収未済額 金 0 円

補助事業等の収支決算書

（単位：円）

収入の部

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
函館市補助金	500,000	500,000	316,000	316,000	△184,000	△184,000	
自己負担金	250,000	250,000	158,085	158,085	△91,915	△91,915	
合 計	750,000	750,000	474,085	474,085	△275,915	△275,915	

支出の部

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
報 償 費	100,000	100,000	128,000	128,000	28,000	28,000	別紙内訳の とおり
事 業 費	487,000	487,000	207,013	207,013	△279,987	△279,987	
使 用 料	163,000	163,000	139,072	139,072	△23,928	△23,928	
合 計	750,000	750,000	474,085	474,085	△275,915	△275,915	

※実績報告の場合 収支差引額 0 円

- (注) 1. この様式は、補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。
 4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認めた書類を添付すること。

事業効果	<p>※本年度実施事業が、どのような効果につながったのか具体的に記載すること。</p> <p>○若者の視点による新たな気づきや組合員のモチベーションの向上、これまでにはない取り組みが創出された。</p> <p>○プロジェクトがメディアに複数回取り上げられたことにより、大きな宣伝効果が得られた。</p> <p>2023. 5.13 北海道新聞</p> <p>2023. 5.21 北海道新聞（全道版）</p> <p>2023. 5.30 TVh 5時ナビ</p> <p>2023.11.23 北海道新聞</p>
事業連携	<p>※他団体との連携があれば団体名と具体的な連携内容を記載すること。</p> <p>北海道教育大学函館校（奥平ゼミ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街の課題調査 ・ 活性化策の企画，実施，検証 など
改善点等	<p>※本年度実施事業の課題と改善点・改善方法等を記載すること。</p> <p>学生との連携は本年度が初年度であったため、事業の進め方や具体的な取り組みの企画・検討に時間を要し、動画やポスターによる広報宣伝が11月以降の実施となったことから効果検証として2～3月に実施したアンケートでは、十分な成果が得られなかった。</p> <p>次年度以降については、本年度の流れを参考に、早めに連携事業の企画・実施に着手し、さらなる活性化に繋げたい。</p>
目標に対する検証結果	<p>※事業計画書に記載した目標について、具体的な検証結果を記載すること。</p> <p>○動画公開および視聴回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Youtube 公開数 32本，視聴回数延べ 9,150回 ※4/25現在 ・ Instagram 公開数 27本，視聴回数延べ 16,438回 ※4/25現在

<p>事業全体の評価</p>	<p>※数値評価やアンケート等による声から拾った効果など、具体的に記載すること。</p> <p>コンサルタントではなく若い学生が中島れんばいの活性化のために取り組んでいることが、組合員にとって良い刺激となり意欲の向上に繋がっている。</p> <p>また、実際に動画を見て来店するお客が増えた、動画の効果で塩辛の購入者が増えた、若い来店者が見られるようになったなど、組合員としても事業の効果を感じており、事業の継続を要望する声が多い。</p> <p>SNSでの発信が令和5年11月以降となったため、令和6年2～3月に実施したアンケート調査ではSNSを見て来街した方はまだ少なかったが、中島廉売の食材で作ってみた動画など魅力的なテーマの動画は閲覧数が伸びることがわかったため、テーマを工夫しながら今後もSNSによる広報宣伝を強化していきたい。</p>
<p>今後の方向性について</p>	<p>※商店街等において、翌年度以降に取り組むべき事業や課題を記載すること。</p> <p>前年度の事業を継続して行くことと、来街者への聞き取り調査（アンケート）と会員店舗からの聞き取り調査を踏まえて、前期ゼミにおいて継続性のある集客イベントを企画し後期ゼミにて実施して効果を検証する。</p>